

カーボンニュートラル実現に向けた取り組み カンロ「エネルギー利用環境負荷低減事業適応」計画に認定 ～ゴミ生産体制の強化と環境負荷低減の両立を実現～

カンロ飴やピュレグミなどでおなじみのカンロ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長 村田 哲也、以下カンロ）は、「エネルギー利用環境負荷低減事業適応計画」を策定し、農林水産省よりその認定を受けたことをお知らせします。

《ゴミの生産ライン新設などを通じて炭素生産性の向上を図る》

近年、気候変動問題への対応が世界的に求められる中、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」の実現を目標に掲げ、企業の脱炭素投資を後押ししています。経済産業省は、企業が産業競争力強化法の計画認定制度に基づく生産工程などの脱炭素化と付加価値向上を両立する設備を導入する際、「カーボンニュートラルに向けた投資促進税制」において税額控除や特別償却の措置を行い、支援しています※。

※経済産業省「カーボンニュートラルに向けた投資促進税制」

https://www.meti.go.jp/policy/economy/kyosoryoku_kyoka/cn_zeisei.html

カンロは、企業パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」のもと、2025年に公表した「Kanro Vision 2.0」の実現に向け、人と社会の持続可能な未来へ貢献すべく事業活動を展開しています。

本計画では、主力であるゴミ事業の成長と環境負荷低減の両立を図るべく、朝日工場において最新のゴミ製造ラインを導入することで付加価値額を向上させ、2026年度から2028年度までの期間で、全社の炭素生産性を21.4%以上向上させ、また朝日工場の炭素生産性を2.1%向上させることを目標としています。

今回、食料品を主体とした製造事業を営んでおり、主業に関連するゴミ製造ラインを計画の対象とすることから、「エネルギー利用環境負荷低減事業適応」に認定されました。

カンロは、今後も事業を通じた地球環境負荷削減を行い、持続可能な社会に貢献してまいります。

《カンロが行う認定事業適応計画の概要》

1. 事業適応計画の実施期間

2026年3月～2028年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

炭素生産性を21.4%以上向上させる

3. 前向きな取組みの内容

朝日工場にゴミ製造ラインを新設し、2ラインの生産体制から3ラインの生産体制へ増強すること、及び、最新のゴミ製造ラインを導入することで既存のゴミ製造ラインと比較し生産効率化が図られることから、付加価値額を向上させ、目標年度に炭素生産性を2.1%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

【グミライン新設概要】

- 所在地 : 長野県東筑摩郡朝日村大字古見字柳久保 2216-1 (朝日工場敷地内)
- 工場面積 : 延べ面積 6,916.75m²
- 構造 : 鉄骨造
- 設備投資額 : 約 130 億円
- 投資内容 : 増築棟建設、グミライン新設、自動倉庫新設等
- 竣工時期 : 2027年3月(予定)
- 生産開始時期 : 2027年7月(予定)



【朝日工場概要】

- 名称 : カンロ株式会社 朝日工場
- 所在地 : 長野県東筑摩郡朝日村大字古見字柳久保 2216-1
- 開設年度 : 2010年
- 生産品目 : グミ

■カンロ展開ブランド



■カンロ会社概要

- 社名 : カンロ株式会社
- 代表 : 代表取締役社長 村田 哲也
- 所在地 : 東京都新宿区西新宿 3丁目 20番 2号
東京オペラシティビル 37階
- 創業 : 1912年(大正元年)11月10日
- 事業内容 : 菓子、食品の製造および販売
- 上場市場 : 東証スタンダード市場 (証券コード 2216)
- URL : コーポレートサイト <https://www.kanro.co.jp/>
KanroPOCKeT <https://kanro.jp/>



当社は1912年の創業以来、社名になっている「カンロ飴」を始め、菓子食品業界で初ののど飴となる「健康のど飴」、ミルクフレーバーキャンディ市場売上 No.1 ブランド※「金のミルク」、大人向けグミの先駆けである「ピュレグミ」など、生活者の皆さまから愛される商品を創り続け、成長してまいりました。直営店「ヒトツブカンロ」では、「ヒトからヒトへ つながる ヒトツブ」をコンセプトにキャンディの魅力を発信しております。

2025年2月、「中期経営計画 2030」を策定し、新たに「Kanro Vision 2.0」を定めました。「Kanro Vision 2.0」は、企業パーパス「Sweeten the Future 心がひとつぶ、大きくなる。」の下、ビジョン「Sweet な瞬間を創り続けることで人々と社会に笑顔を。」と4つのバリュー「Sweet な瞬間を創造する」「事業基盤を変革する」「未来へ紡ぐ」「創発的な組織の更なる進化」からなり、今後の当社の進む方向性を示したものです。

国内グミ事業を中心に更なる成長を実現するとともに、持続的成長のための事業領域拡大・ビジネスモデル拡張を進め、事業を通じて社会課題の解決に寄与しながら、企業価値を向上させることで、人と社会の持続的な未来に貢献してまいります。

※株式会社インテージ SRI+ ミルクフレーバーキャンディ市場 2024年4月～2025年3月累計販売金額ブランドランキング

■パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」

カンロは、2022年、企業パーパス「Sweeten the Future ～心がひとつぶ、大きくなる。～」を定めました。変化が激しく、先行きが不透明・不確実な時代の中、カンロがこれまで歩んできた道程を確認の上、自分たちの未来への想いを言語化したものです。糖から未来をつくり、糖の力を引き出す事に挑み続けてきたカンロが企業活動の中で培った技術をさらに進化させることで、「心がひとつぶ、大きくなる。」瞬間を積み重ねて人と社会の持続可能な未来に貢献してまいります。